



# ぴーちく ぱーちく

〒569-0082 大阪府高槻市明野町 10-15  
ぷりんせす明野 1F

第70号

編集・発行 NPO法人自立支援センターたかつき

2017. 2. 24 発行

TEL:072-672-1294 FAX:072-668-3210

MAIL:wffcj830@yahoo.co.jp

URL: http://ciltakatuki.web.fc2.com/



## たかつきし たいしこうしょう 高槻市との対市交渉がありました

2月21日(火)、高槻市との対市交渉が行われました。市は今回も例年のようにのりくりりの回答で、沢山の要求項目に対して、「研究します」、「大阪府と協議します」と繰り返すばかりでした。高槻市は中核市で、大きな権限があるのに「府と協議します」と言うだけで、本当に腹が立ちました。また、聴覚障がい者の政策の遅れを感じました。手話通訳で保障されないといけないのに、未だにそうならない現状があります。そして、入院時のこと。「コミュニケーション支援」が知的障がい者や聴覚障がい者には認められていない。ナースコールを鳴らしてもなかなか来てくれない。知的障がい者の入院時には、親や職員が付き添わないといけないのです。30代40代の大人の障がい者に親が付き添わないといけないのは、おかしいです。この意味を市は全然理解してないです。慣れた人が介助するのが一番良いのです。

2018年度から、重度訪問介護を利用している障がい者の入院時の介助にはヘルパーが付いて良いと市側は発言していました。しかし重度訪問介護制度は国の制度です。何も高槻市が努力して作った制度ではありません。高槻市独自のがんばりというものを見たかった、と強く思いました。

## もりおさむ しのぶかい さんれつ 森修さんを偲ぶ会に参列して

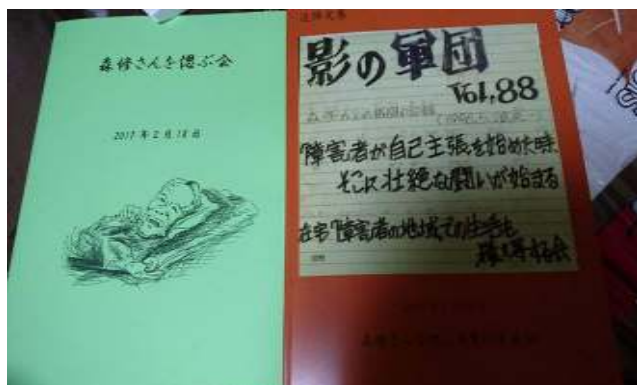
私斎藤とは40年来の運動仲間だった、森修さんが、昨年夏に67歳で亡くなりました。彼は、重度の脳性麻痺で寝たきりの男性で、青い芝の会の会長も5年務められました。

2月18日、その森修さんを偲ぶ会に参加してきました。森さん介助のOBや、現役で介助をしていた若い人たちが大勢いて、会の準備や文集作成と、森さんのために懸命に働く姿は羨ましくもあり、それだけ森さんはこの人たちに影響を与え愛されていたんだなと思いました。

私も死んだら、ってまだまだ生きるつもりですが、こんな人たちを一人でも多く増やしていければと強く思いました。後々の人たちのためになるのですからね。一つの歴史を作った森さんだったんだと思いをはせました。(まー)



しのぶかいかいじょうまえ  
偲ぶ会会場前にて



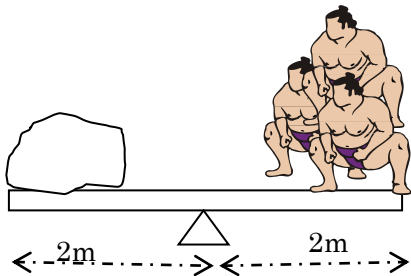
しきじだい と ついでぶんしゅう  
式次第と追悼文集

さらば腰痛 (@^)/~~~~ ↑ てこのお話 ↑

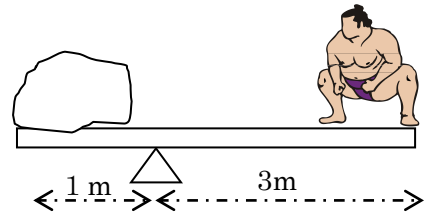
今回は、知ってるようで知らない人が多い、てこのお話。「てこでも動かない。」とか昔から言うでしょ。重い物も“てこ”を使うと簡単に動かすからやね。介助動作の力学でも、この“てこ”を使うと腕力を使わなくても安全にできるんやがね!

◆ 下の絵の岩は450キロあるとするわ。これ、動かすのにてこを使おう。

ところが、左の絵では、あんまり楽にならへん。450キロは450キロのまま。150キロのお相撲さんを3人も乗せなつり合わへん!



でも、右の絵やと、... なんと  
いうことですよー! Δが1メートル左へ動いただけなのに、お相撲さんが一人でいける! Δの位置がちょこっと変わるとこんなに変わる。



“てこ”は、こんなふうに大きな力を小さな力に、小さな力を大きな力に変える魔法。

ほんと魔法じゃあなくて、押したり引いたりするまっすぐな力を回転力に変換してるってだけなんやけどね。回転力に変えると、Aという力は支点からの距離Bと掛け合わされて、A×Bになるから、B(Δからの距離)が大きいと2倍、3倍・・・と魔法のように大きくなるわけ。

だから150キロのお相撲さんも、Δからの距離が3倍なら450キロの岩と、ひとりですり合う。(え?なぜお相撲さんかって?・・・電動車いすに乗ったマーさんでもいいけど・・・あ、ごめん。失言でした。)

◆ さて、ほんなら、介助でどうやって“てこ”を使うか。文章で書くと、  
自分の身体の一部(膝、背中、お尻、腕、脚・・・)と、周囲にある安定した物(ベッド、壁、床・・・)で、力の方向に対して有効な支点(つまりΔのそこ)を作り出す。

たとえば・・・○ベッドの側面に膝を当てて寝ている人を手前に引っ張るのに自分の体重移動を使う。○壁に背中を当てて介助者の身体を安定させながら相手を支える。

単純な立ち上がり介助でも左の絵みたいに足を踏み込んでないと、腰にとっても負担がかかってまう! やめてや! 右の絵みたいに足を踏み込んで(岩を動かすΔを1メートル動かすだけで力は3分の1でOKだったよね。それと同じ。)、踏み込んだ足と床を支点にして”てこ”



いらすとまな かんごにんげんこうがく  
「イラストで学ぶ看護人間工学」  
とうきょうでんきだいがくしゅつぱんきょく  
東京電機大学出版局 から

のように動けば、腰にはほとんど負担があらへん。持ち上げようとしたら450キロある岩も、“てこ”で工夫すれば、電動車いすユーザー一人で動かせるのとおんなじやがね~! ((注) 電動車いす(標準形)は70~80キロ以上もあります。)



【介助方法】  
(株)ケア・センスHPより

# シンポジウムのお知らせ

とうせんたー へるばーけいけん げんざい わかやま かつやく ながおかけんたろうべんごし とうだん  
 当センターでヘルパー経験があり、現在、和歌山で活躍されている長岡健太郎弁護士が登壇さ  
 れるシンポジウムのお知らせです。「障害者差別解消法と弁護士の役割」というテーマのこの  
 シンポジウム、興味のあるかたは、是非足を運んでみてはいかがでしょうか？

## シンポジウム「障害者差別解消法と弁護士の役割」

へいせい ねん がつ にち しょうがいしゃさべつかいしょうほう しこう わかやまし しょうがいしゃさべつかいしょうすいしんじょうれい しこう  
 平成28年4月1日、障害者差別解消法が施行され、和歌山市では障害者差別解消推進条例も施行  
 されました。本シンポジウムでは、何が「差別」に当たるのか、「合理的配慮」とは何かについて、具体的  
 事例も交えながら理解を深めるとともに、障害当事者、市民、行政、そして弁護士・社会福祉士等の専門  
 職が広く連携して、障害の有無を問わず共に暮らせる社会を作っていくためにどのようなことが必要  
 か、そのための具体的な相談体制や解決のための仕組みについて考えていきたいと思っております。

日時 2017年3月18日(土)  
 12時30分～16時30分(開場12時～)

場所 和歌山ビッグ愛1階大ホール

### 基調講演

①川島 聡 (岡山理科大学) 「合理的配慮とは何か」

②西倉実季 (和歌山大学)

「合理的配慮をめぐるプライバシーの問題」

### 基調報告

①和歌山県取組状況

和歌山県障害福祉課長 (中林 憲一)

②和歌山市における取組状況

和歌山市障害者支援課長 (坂下 雅朗)

③和歌山での具体的事例を元に

(石田 雅俊 = 和歌山市内当事者)

### パネルディスカッション

コーディネーター 長岡健太郎 (和歌山弁護士会)

登壇者・山田賢 (明石市福祉部福祉総務課)

・上間清香 (沖縄県広域相談専門員)

・森脇大介 (和歌山弁護士会)



## 介助者の皆さんへ 〈有給休暇について〉

昨年から登録ヘルパーさんも勤務日数を管理して有給休暇を計算しています。  
 所定の勤務日数以上働いた方には、給与明細書の「有給残(日数)」の欄に、使える有給休  
 暇の日数が出ています。該当する方はぜひご利用ください。(どうやって?いつ?など、わから  
 ないことは、お気軽に担当者までお問い合わせくださいね。) 担当：中島  
 (電話番号、メールアドレス等は通信の最初のページをご覧ください。)

## 自立支援センターたかつき～わたしたちが、やっていること～

- ・**重度訪問介護 従業者養成研修**：年に2回（9月と3月ごろ）研修を行っています。
  - ・**ピアカウンセリング**：当事者同士でお互いの気持ちを共感・共有します。
  - ・**自立生活プログラム（ILP）**：宿泊体験・外出体験・料理体験など自分の自立生活に必要な知識や経験を身につけていきます。
  - ・**自身体験室**：実際にヘルパーを使って生活をする体験ができます。誰でも使えるので気軽に声をかけてね。
  - ・**相談・情報提供**：障がい者の生活に必要な情報の提供を行い、相談にのります。
  - ・**障がい者自立フォーラム（地域活動支援センターⅢ型）**：日中に集い、障がいを持つ仲間や、友人作りの場として活用して下さい。私たちと一緒に自分探しをしませんか？
- その他**、お花見、ピアカーデン、クリスマス会などの交流の場をみんなで考えて計画しています。お気軽に遊びに来てください！



### 【利用者対象学習会】

## 障害者権利条約と

## 差別解消法

次回の学習会のテーマは、

「障害者権利条約と差別解消法」です。

**日時** 2017年3月25日（土）10:00～12:00

**場所** 当事業所事務所にて

申込は、自立支援センターたかつき（072-672-1294）まで



## 新しい書籍の紹介



大隅典子『脳から見た自閉症「障害」と「個性」のあいだ』講談社 2016

『現代思想 緊急 特集 相模原 障害者 殺傷 事件』青土社 2016.10

（和田孝雄さまより寄贈）



## 3月のフォーラムの予定

☆毎週木曜日はクラフトの日！

カワイイ手作り品作り、お気軽に体験しに来て下さい♪

☆セラピードッグ **しばらくお休みです**……

☆「ミカ◎マーケット」 **3月はおやすみです**～



◎お問い合わせは自立フォーラムまで  
TEL：072-672-8532

